

新入園の幼児にとって、泥との出会いはたくさんの発見や気づきを感じながら遊ぶことにつながります。「どうやって遊ぶのかな」と不安な幼児とは、保育者が一緒にそばで遊んだり、友達の様子を見て真似したりすることで安心して取り組むことができるように関わってきました。



泥んこ遊び、やってみたい！

保育者の願い



- ・保育者や友達と思いを共有しながら遊んでほしい
- ・泥の感触の面白さ、不思議さに気づき、十分に遊びを楽しんでほしい
- ・自分なりにイメージを広げて遊ぶことを楽しんでほしい



手が真っ赤！なんで？

健康な心と体

社会生活との
関わり



さわってみたい

自然との関わり・
生命尊重

もっといっぱいになりたい



先生の足を泥で隠したい

自立心

パンをいっぱい作りたい

豊かな感性と
表現



泥や水の感触や温度、匂い、色、形、重さ、流れ等を感じることで五感を総合的に使う能力が育っています。

思考力の芽生え



水を流したい！



幼児の思い



- ・先生、友達と同じことをして遊びたい
- ・泥を触ってみたい
- ・この道具を使って遊びたい
- ・泥でパンをいっぱい作りたい



泥をペットボトルに入れたい



お友達何してるのかな？



泥の上を車で通りたい

雨上がりの泥との出会いから、子ども達のいろいろな「やってみたい！これ楽しい！」が見つかっています。同じ泥という素材で遊んでいてもそれぞれやりたいことが異なります。広い園庭でたっぷり時間を使って、これからの季節にしかできない経験を一人一人のやり方で楽しんでほしいと思っています。